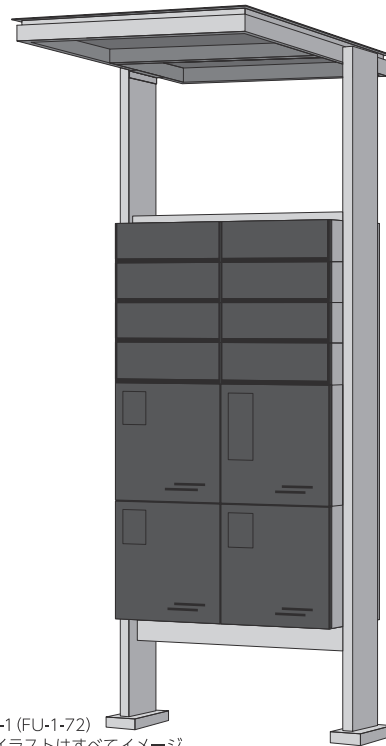


自立設置用 フレームユニット

●【施工業者様へ】
設置される該当機種にしるしをお付けください(含む裏表紙)



FU-1 (FU-1-72)
●イラストはすべてイメージ

施工・取扱説明書

施工前に本書をかならずお読みください。

- このたびは自立設置用フレームユニット(以下、製品とする)をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- 製品に取付できる指定の防雨タイプメールボックス・宅配ボックスは別売です。
- 製品イメージは2列用で説明しています。他の列数でも施工・使い方は同じです。
- 製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 【施工業者様へ】施工後は本書をお客様へお渡ししてください。

この取扱説明書では、特に注意していただきたい事項に下記のようなマークと見出しをつけています。本書の中で、これらのマークと見出しがありましたら記載内容をよくお読みいただき、十分ご理解のうえ注意して施工してください。



警告 取扱いを誤った場合に、死亡又は重症を負う可能性のあることを示しています。



注意 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。



してはいけない
「禁止行動」を示しています。



実行しなければならない
「指示行動」を示しています。

安全上のご注意



警告

次の警告事項を必ず守ってください。死亡又は重症を負う可能性があります。



- 分解・改造は絶対にしないこと。
- 雨天時、荒天時、強風時には施工しないこと。
- 家屋から製品に落雪するおそれのある場所や不整地な場所には施工しないこと。
- 製品などにはしごをかけて屋根に乗ったり、製品周辺で遊ばせないこと。
- メールボックス・宅配ボックスに手や足をかけてよじ登らないこと。



- 製品の施工は本書にしたがい、確実にこなうこと。
- 重量物につき、施工はかならず2人以上でおこなうこと。
- 施工後は製品およびメールボックス・宅配ボックスが確実に固定されているか定期的に確認すること。
- メールボックス・宅配ボックスは当社製の防雨タイプ指定機種を取り付けること。→p.11 参照



注意

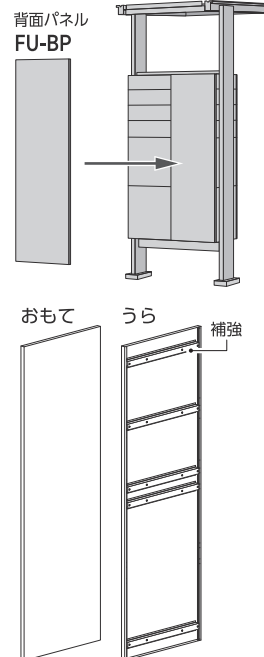
次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性がありま



- 設置作業の際、ケガをするおそれがあるので、ヘルメットや軍手などの保護具を着用してからおこなう。
- 製品を設置する際にキズをつけないよう十分注意しながら施工場所にて開梱する。
- 設置中に製品が汚れた場合はアルコールをウエスなどに含ませてから拭く。
- 施工時のねじ類の締め忘れに注意する。(ケガや故障の原因)
- メールボックス・宅配ボックスに背面パネルを取り付ける。(ケガ・事故の発生や配達物汚損の原因)
- メールボックス・宅配ボックスの注意事項や使い方は当該機種の説明書を参照する。

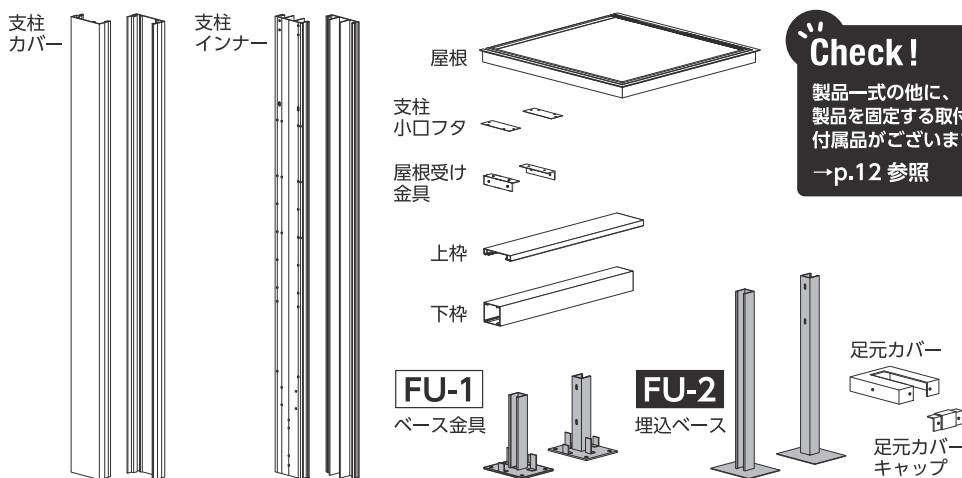
別売 背面パネル

別売のメールボックス・宅配ボックス背面の取付穴にビスで固定します。→p.6 参照



梱包仕様

数量がそろっているかご確認ください。
製品にメールボックス・宅配ボックスおよび背面パネルは含まれておりません。



Check!

製品一式の他に、製品を固定する取付金具や付属品がございます。
→p.12 参照

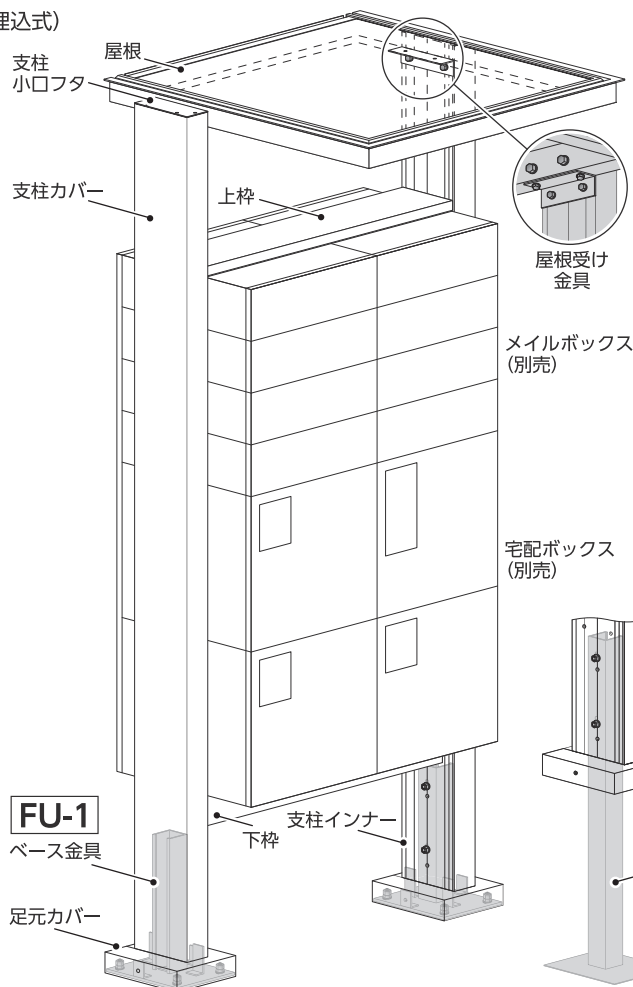
使用する工具

- インパクトドライバー ●ハンマードリル ●コンクリートドリル(φ10.5)
- スパナまたはレンチ(7mm・13mm・17mm) ●ダストポンプ ●アンカーハンマー ●アンカー打込み棒(推奨) ●水平器

各部の説明

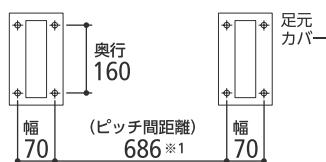
FU-1 (ベース式) FU-2 (埋込式)

- 組み立て状態のイラストは「FU-1」(FU-1-72)です。
- 説明のため、屋根および支柱インナーならびに支柱カバーの一部を透過しています。
- 「FU-1」と「FU-2」でベース金具の種類が異なります。



FU-1 アンカーピッチ図

単位：mm



※1 2列用の場合。
他の列数の場合は以下の数値でピッチ間距離を出します。

- 1列用：326 (mm)
- 3列用：1046 (mm)
- 4列用：1406 (mm)

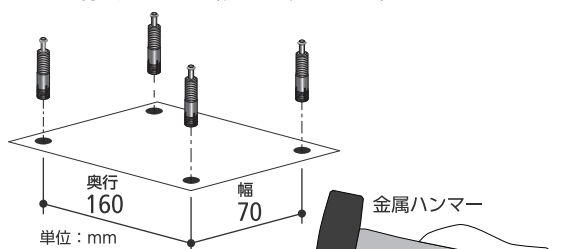
FU-2 の施工について

→p.8「1. 基礎穴を掘る」からご覧ください。

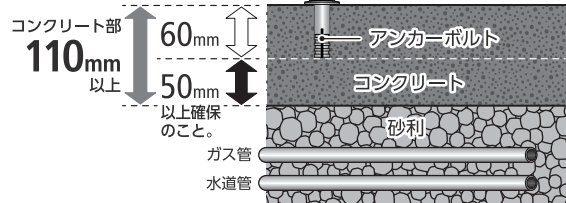
フレームユニットの施工 FU-1

1 アンカーを施工する

上記アンカーピッチ図を参考に合計 8ヶ所の穴をあけて、付属のアンカーボルトを打ち込みます。(φ10.5 深さ 60mm)

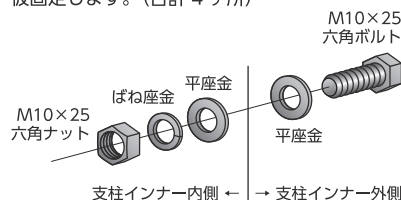


アンカー打設の際は、地中のガス管や水道管などを傷めないように注意すること。



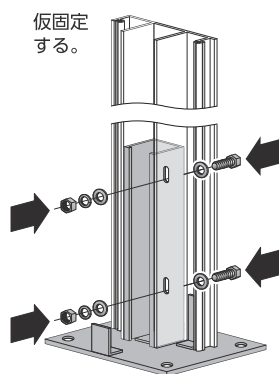
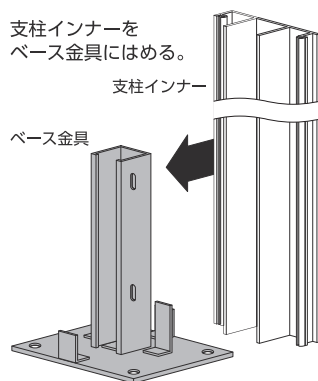
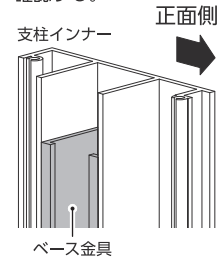
2 支柱インナーとベース金具を組み立てる

支柱インナーとベース金具を六角ボルト・ナットで仮固定します。(合計 4ヶ所)



！ ご注意

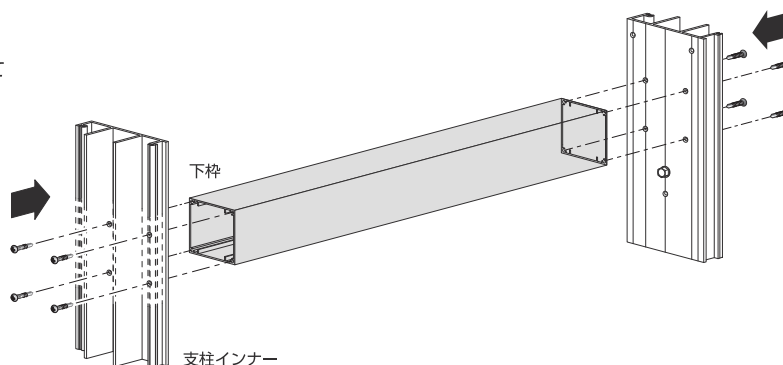
支柱インナーの向きを確認する。



フレームユニットの施工 (FU-1 .p2 のつづき)

3 下枠を取り付ける

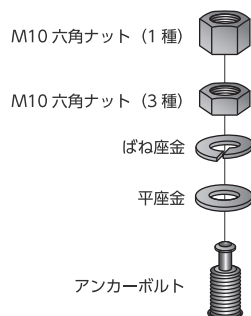
下枠を支柱インナー外側からビスホールに向かって
なべドリルねじで固定します。
(合計 8 ケ所)



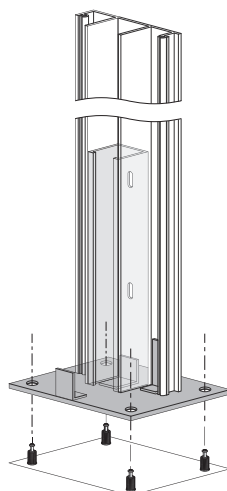
4 ベース金具を固定する

ベース金具をアンカーボルトに通して、
M10 六角ナット (3 種・薄い方) で
本締めします。(合計 8 ケ所)

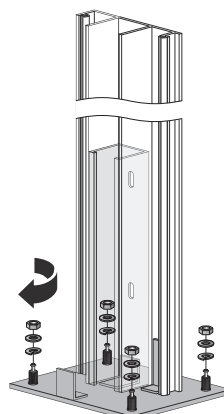
さらに、ユルミ対策として M10 六角ナット
(1 種・厚い方) をダブルナット掛けして
本固定します。(合計 8 ケ所)



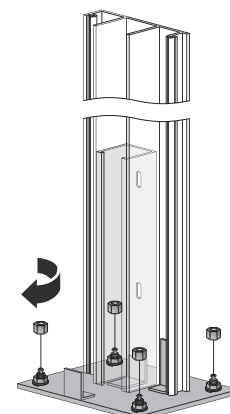
ベース金具を
アンカーに通し、



六角ナット (3 種) を
締結する。



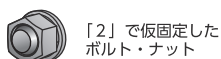
六角ナット (1 種) を
ダブルナット掛けして
本固定する。



❗ 製品の転倒を防ぐため、ベース金具を固定した後に
再度ユルミがないか確認すること。

5 レベル調整と 支柱インナーを固定する

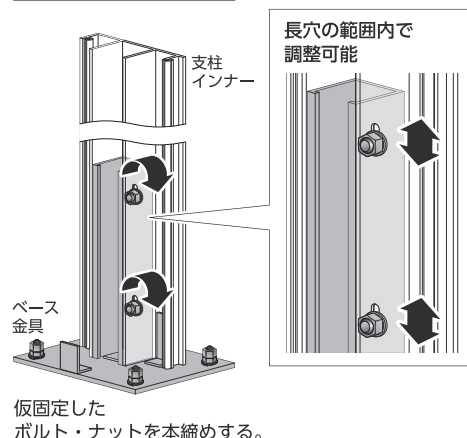
下枠が水平になるように支柱インナーの高さを調整し、
「2」で仮固定したボルト・ナットを本締めします。
(合計 4 ケ所)



その後、特皿ドリルねじで支柱インナーを本固定します。
(合計 8 ケ所)



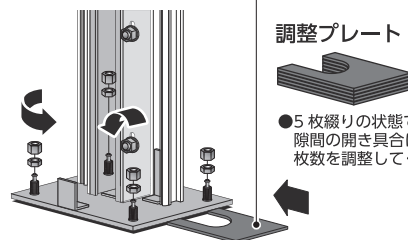
製品両外側



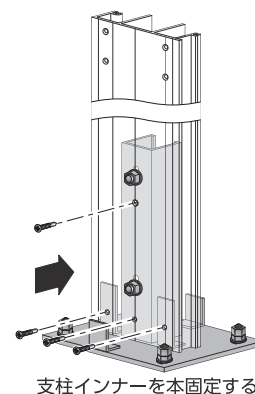
長穴の範囲内で
調整可能

ベース金具の長穴調整において
高さが不足する場合

ナットを一旦ゆるめて
付属の調整プレートを
ご使用ください。



製品両内側



❗ 支柱インナーを本固定した後、
再度ユルミがないか確認すること。

このつぎの施工について

→p.4 「6. メールボックス・宅配ボックスを取り付ける」へ。

メールボックス・宅配ボックスを取り付ける

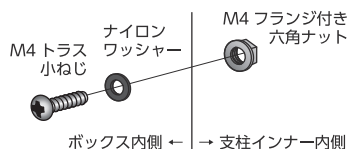
●イラストは「FU-1」(FU-1-72)

下枠に宅配ボックスを乗せて、製品に付属のネジで支柱インナーと宅配ボックスを固定します。宅配ボックスを固定したら、宅配ボックス・メールボックスを1台ずつ上積みしながら固定・連結します。

- 2列以上の場合、宅配ボックス（メールボックス）を1台ずつ横に並べて乗せてください。
- 宅配ボックス（メールボックス）同士の固定は宅配ボックス（メールボックス）付属のビス類をご使用ください。
- 宅配ボックス・メールボックス同士の連結については宅配ボックス・メールボックスの説明書を参照。

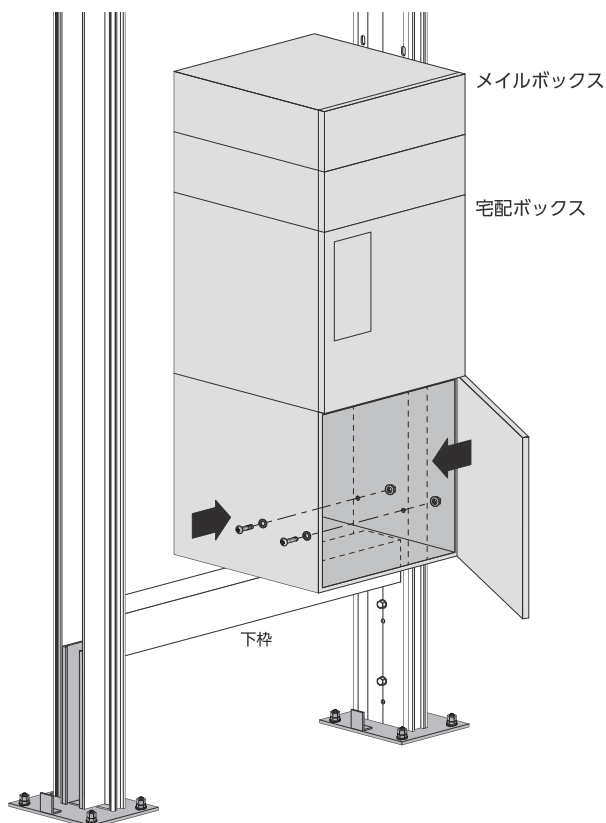
Check!

- 支柱インナーとの締結箇所は宅配ボックス・メールボックスの組み合わせによって異なります。→p.10 参照



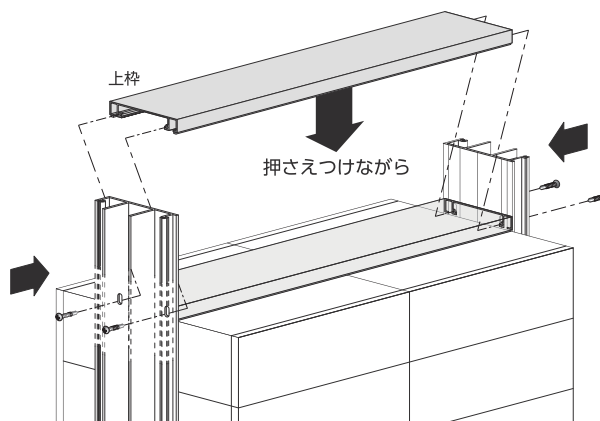
ご注意

- 宅配ボックス・メールボックス同士を連結した状態で乗せない。



7 上枠を取り付ける

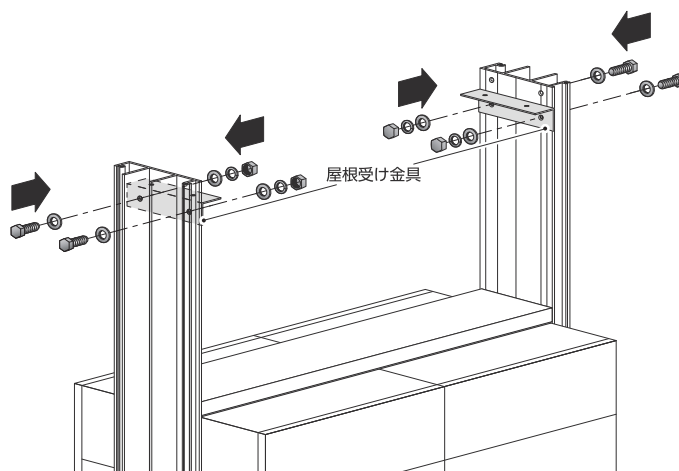
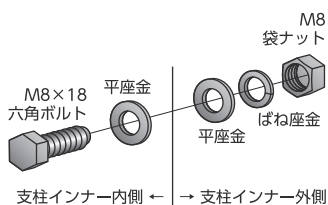
宅配ボックス（メールボックス）を最上段まで組み上げて締結した後、上枠を宅配ボックス（メールボックス）に押さえつけながら、支柱インナー側から上枠のビスホールに向かって、なべドリルねじで固定します。（合計4ヶ所）



8 屋根受け金具を取り付ける

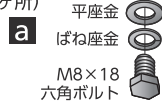
支柱インナーに屋根受け金具を六角ボルト・ナットで固定します。（合計4ヶ所）

- ボルトは支柱インナー内側から差し込んでください。

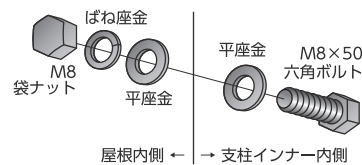


9 屋根を取り付ける

屋根受け金具に屋根を乗せて、六角ボルトで屋根と屋根受け金具を固定します。(合計4ヶ所)

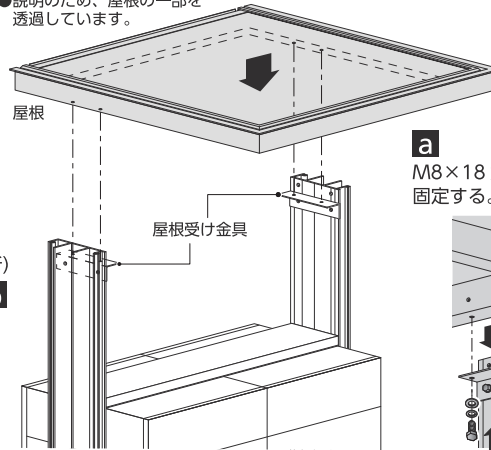


つぎに、六角ボルト・ナットで支柱インナーと屋根を固定します。(合計4ヶ所)



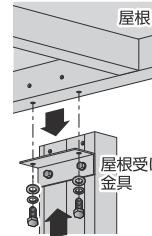
屋根内側 ← → 支柱インナー内側

●説明のため、屋根の一部を透過しています。

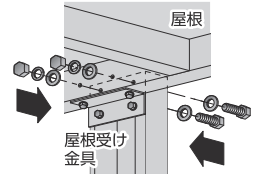


! 屋根の落下を防ぐため、ボルト・ナットを固定した後に再度ユルミがないか確認すること。

a M8x18 六角ボルトで固定する。



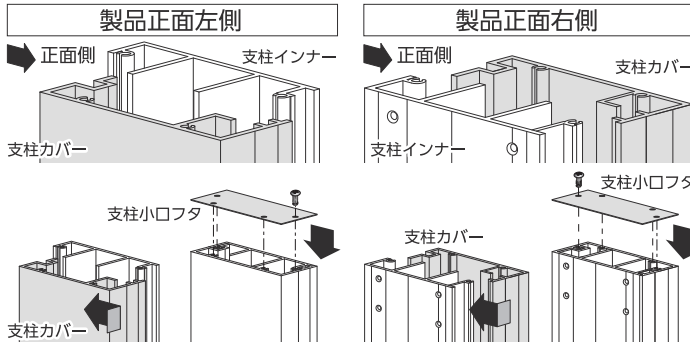
b M8x50 六角ボルト・ナットで固定する。



10 支柱カバーと支柱小口フタを取り付ける

支柱インナー外側から支柱カバーを被せて、支柱の上部に支柱小口フタを支柱に被せて、なべタッピンねじで固定します。(合計8ヶ所)

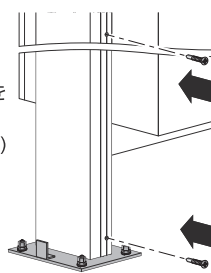
! ご注意 支柱インナーおよび支柱カバーの断面を確認する。



●支柱カバーは直角に動かすようにして支柱インナーに被せます。

支柱小口フタを固定したら・・・

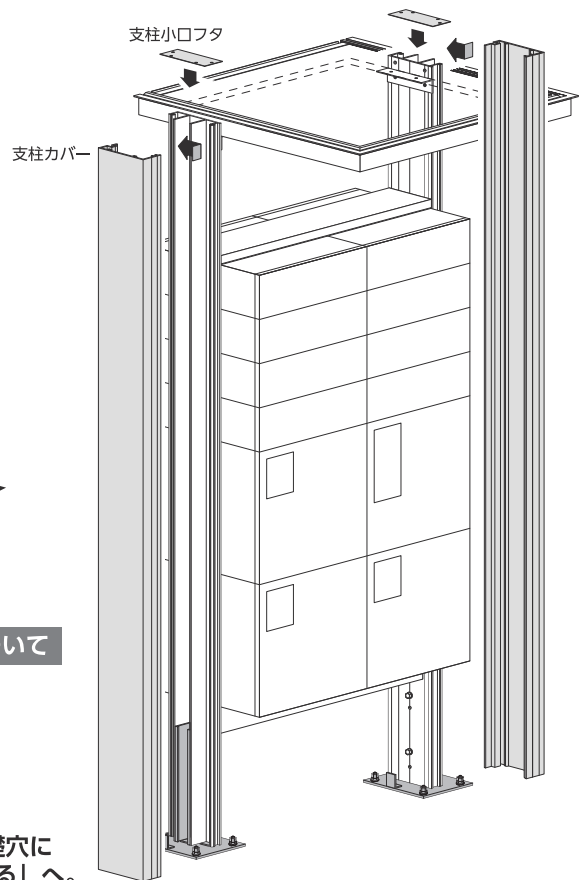
製品背面側、支柱の下部を特皿ドリルねじで固定します。(合計4ヶ所)



このつぎの施工について

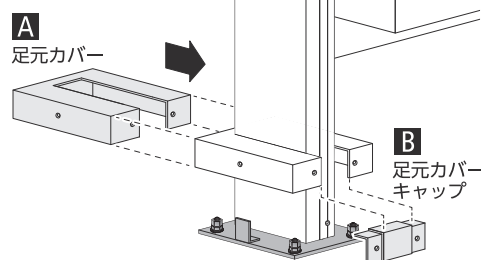
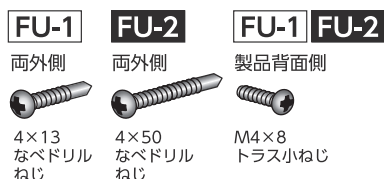
FU-1
→下記「11」へ。

FU-2
→p.9
「コンクリートを基礎穴に流して製品を固定する」へ。



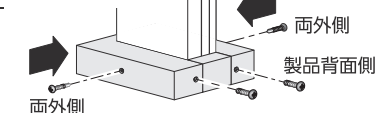
11 足元カバーを取り付ける

製品前方からAを支柱に差し込み、背面側のBに被せます。設置面に置いた後、製品背面側はトラス小ねじ、両外側はなべドリルねじで固定します。(それぞれ合計4ヶ所)



A B を合体した状態

●「FU-1」「FU-2」で両外側ねじの長さが異なる。



このつぎの施工について

→p.6 「背面パネル FU-BP の取付」へ。

背面パネル FU-BP の取付 (FU-1 FU-2 .p5 のつづき)

●p.5「11. 足元カバーを取り付ける」の施工後におこなってください。

背面パネルについて

当社製メールボックス・宅配ボックス背面の凹凸や取付穴を隠すために使用します。

●メールボックス・宅配ボックスを安定して取り付けるためにも、かならず背面パネルをお使いください。

背面パネルを使用しない場合、ボックス内部に風雨が浸入し、配達物汚破損の原因となります。

●当社製の防雨タイプメールボックス・宅配ボックスの指定機種は右記のとおり。

●当社製以外の背面パネルを使用した場合は保証対象外とします。

●他社メールボックス・宅配ボックスには取付できません。

●背面パネルは1列用のみ。列数分必要です。

取付可能
指定機種

宅配ボックス
MULTIBOX
GX36R

メールボックス
MAILBOX
MX-68

MAILBOX
MX-8e

MAILBOX
MX-92
MX-92-36FF

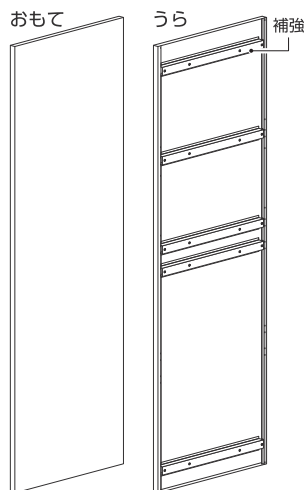
背面パネル FU-BP の取り付けかた 別売

メールボックス・宅配ボックスの内部より、背面パネル取付穴6ヶ所に固定します。

！ 取付注意

- 背面パネルには方向性があります。
- イラストと同じ向きで取付けます。
(補強の数が多い方が上)

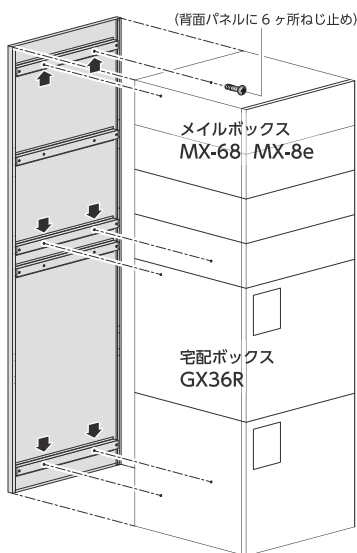
FU-BP 固定用
M4×12
トラス小ねじ
(FU-BP に付属)



メールボックス
MX-68 MX-8e

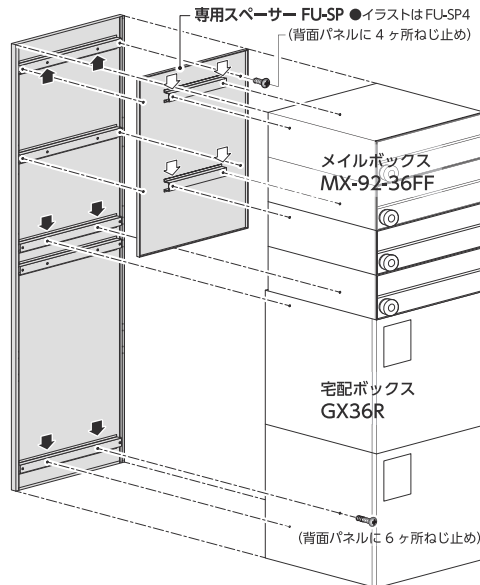
宅配ボックス
GX36R

- 背面パネルのみで
取付可能。



メールボックス
MX-92-36FF

- 宅配ボックス GX36R と奥行き寸法が
異なるため、専用スペーサーが必要。(取付方法は下記参照)



メールボックス

MX-92-36FF 専用スペーサー FU-SP の取り付けかた 別売

宅配ボックス GX36R と奥行き寸法が異なるため、
背面パネルに加えて専用スペーサーを取り付け (両者をまとめて **C**)、
C をメールボックス MX-92-36FF に取付けます。

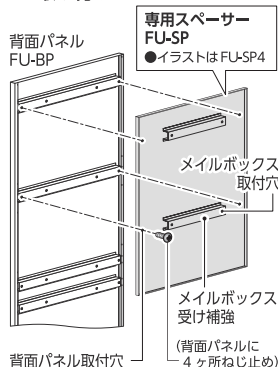
メールボックスの段数別にラインナップがございます。

メールボックスの段数に合わせた専用スペーサーを
ご使用ください。

FU-SP 固定用

M4×6
トラス小ねじ
(FU-SP に付属)

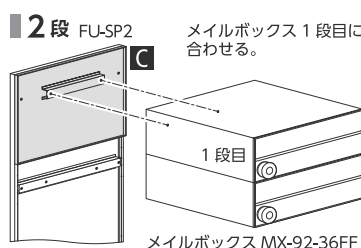
1 背面パネル FU-BP と
専用スペーサー FU-SP を
取り付ける



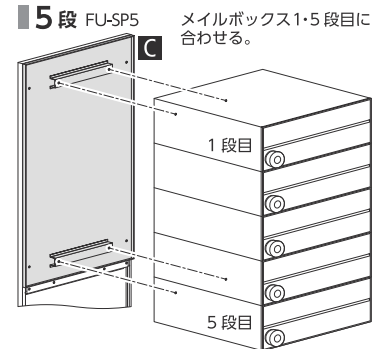
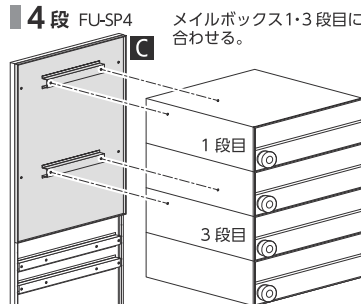
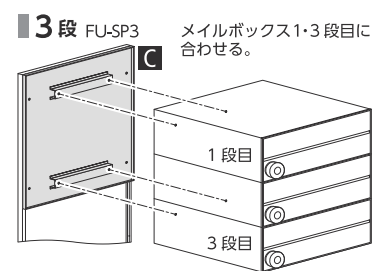
！ 取付注意

- 最初に背面パネル FU-BP と
専用スペーサー FU-SP を
取り付けること。
- 専用スペーサー (2 段) (4 段) には
方向性があります。
- メールボックス受け補強が
ある方をメールボックス側にして
取付けます。

2 メールボックス MX-92-36FF に
C を取り付ける



●専用スペーサーへの固定は
メールボックス付属のビス類をご使用ください。



・・・これで施工は終了です。

ご案内

FU-2 の施工について →p.8 「1. 基礎穴を掘る」 からご覧ください。

p.10 以降にて、「FU-1」「FU-2」のラインナップや
当社製の防雨タイプメールボックス・宅配ボックス指定機種などについて紹介しております。

- 製品ラインナップ
- 支柱カバーと背面パネルの取付位置について
- 製品に取付できるメールボックス・宅配ボックスの指定機種

取付可能指定機種

取付可能指定機種とボックスユニットの組み合わせ一覧

- 仕様
 - 付属取付金具・付属品
- 別売品に付属している取付金具

MEMO

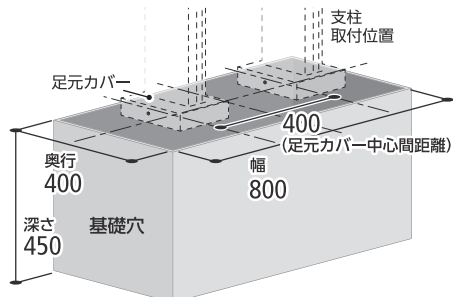
フレームユニットの施工 FU-2

1 基礎穴を掘る

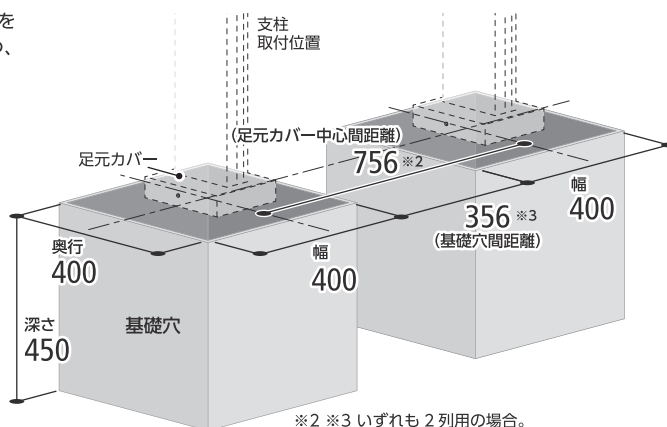
支柱取付位置を決めた後、足元カバーの中心を基準に位置決めをおこない、足元カバーの幅と奥行の中心から片側 200mm ずつ、それぞれ 400mm 幅の基礎穴をつくります。

(支柱 1 本あたり・単位：mm)

- 1 列用の場合、幅 800mm×奥行 400mm×深さ 450mm の基礎穴をつくります。



●「FU-2」(FU-2-36)

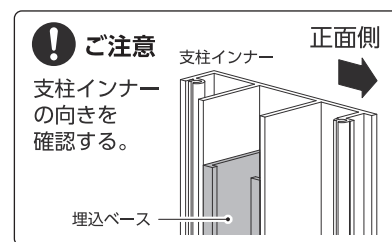
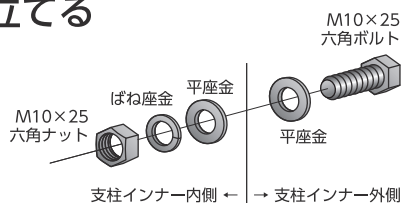


●「FU-2」(FU-2-72)

※2 ※3 いずれも 2 列用の場合。
他の列数の場合は、上記の数値に以下の数値を足して距離を出します。
3 列用：360 (mm) 4 列用：720 (mm)

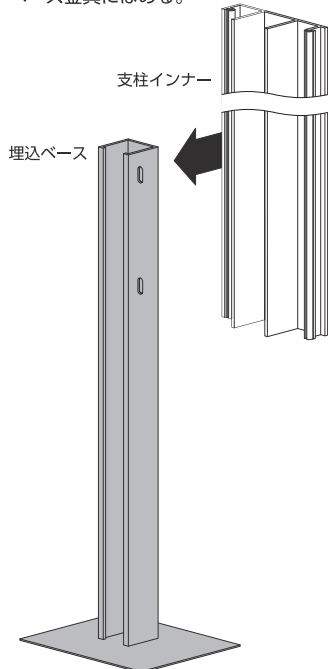
2 支柱インナーとベース金具を組み立てる

支柱インナーと埋込ベースを六角ボルト・ナットおよび特皿ドリルねじで本固定します。(それぞれ合計 4 ケ所)

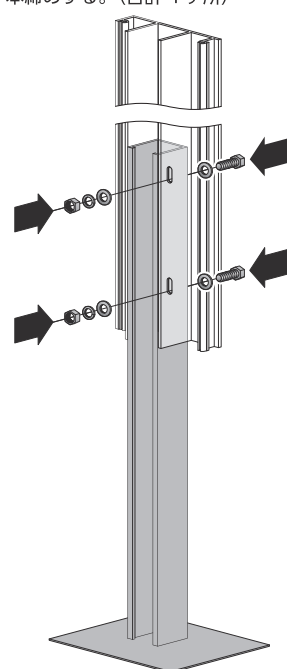


製品両外側

支柱インナーをベース金具にはめる。

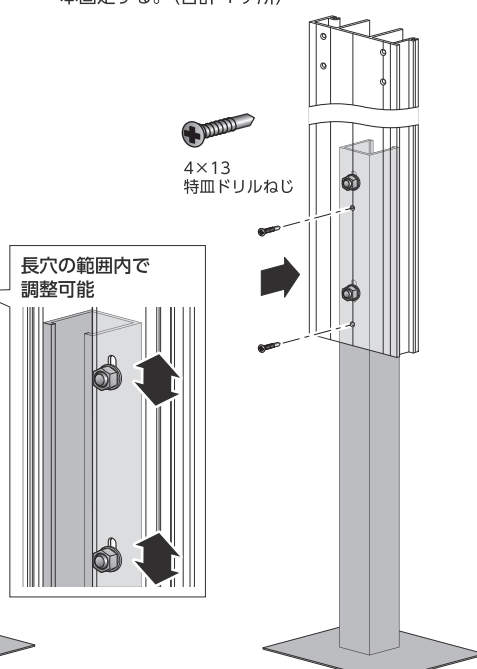


ボルト・ナットを本締めする。(合計 4 ケ所)



製品両内側

支柱インナーを本固定する。(合計 4 ケ所)



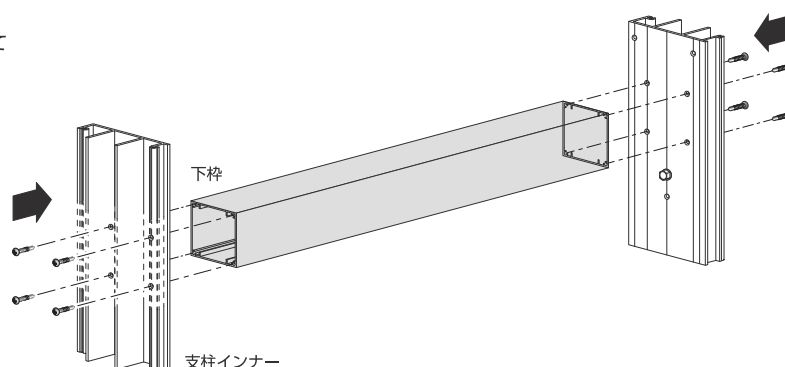
● 支柱インナーを本固定した後、再度ユルミがないか確認すること。

3 下枠を取り付ける

下枠を支柱インナー外側からビスホールに向かって
なべドリルねじで固定します。
(合計 8 ヶ所)



4×19
なべドリルねじ

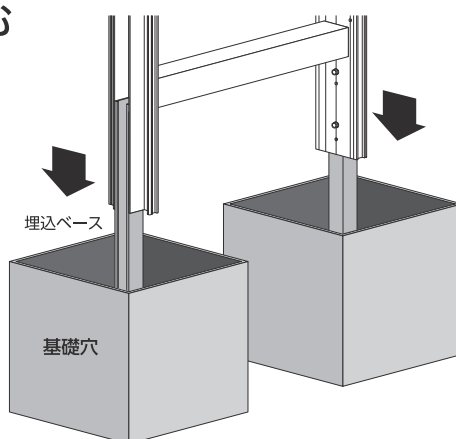


●イラストは「FU-2」(FU-2-72)

4 基礎穴に製品を建て込む

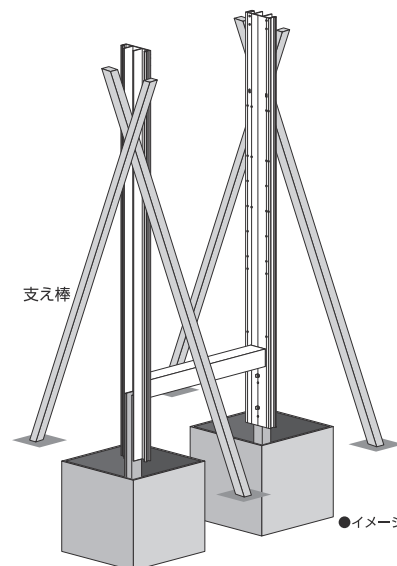
埋込ベースを基礎穴に差し込み、
位置ずれや製品にねじれが無いか確認の上、
水準器を使い水平調整をおこないます。

支え棒を使用して製品を仮固定をしながら、
p.4 「6」～「10」の手順にしたがって
製品を組み上げます。



Check!

水平調整をおこないながら、
製品が倒れないように支え棒などを
使用して暫定的に固定する。



このつぎの施工について

→p.4 「6. メールボックス・宅配ボックスを取り付ける」へ進み、
引き続き施工をおこなってください。

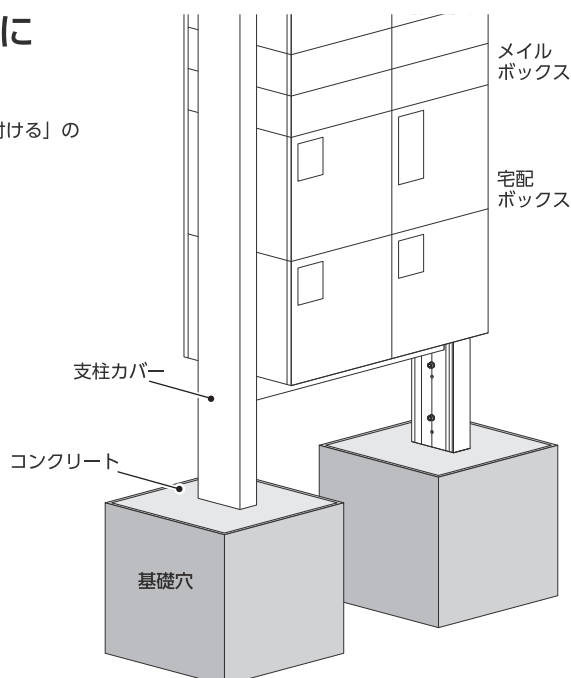
→p.5 「10. 支柱カバーと支柱小口フタを取り付ける」のつづき

コンクリートを基礎穴に 流して製品を固定する

p.5 「10. 支柱カバーと支柱小口フタを取り付ける」の
施工が終わったら、基礎穴にコンクリートを
流し込みます。



製品の転倒を防ぐため、
コンクリートが硬化して製品が
固定されているか確認すること。



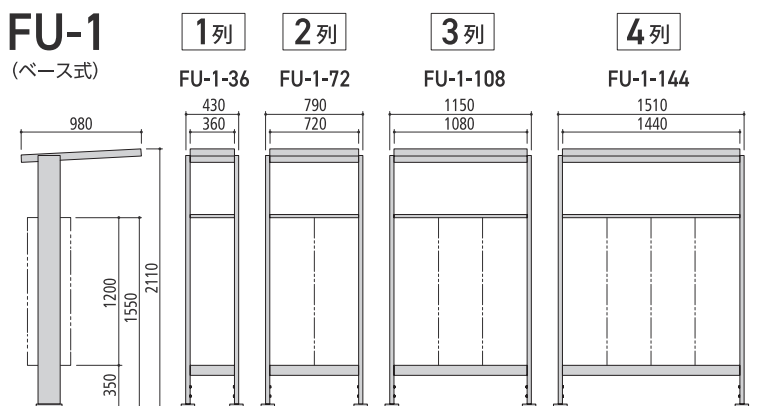
このつぎの施工について

→p.5 「11. 足元カバーを取り付ける」へ。

製品ラインナップ

FU-1

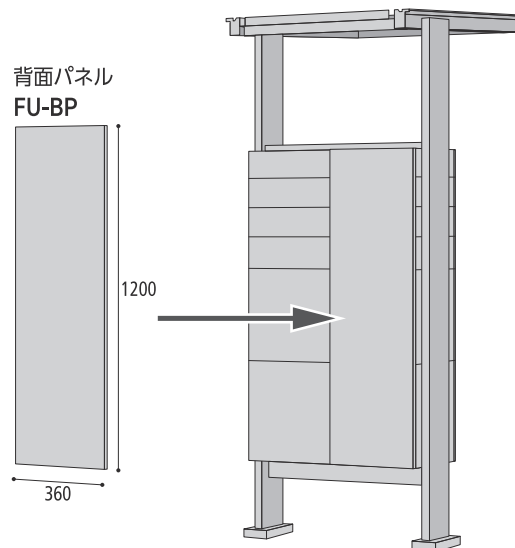
(ベース式)



メールボックス・宅配ボックス 背面取付用パネル

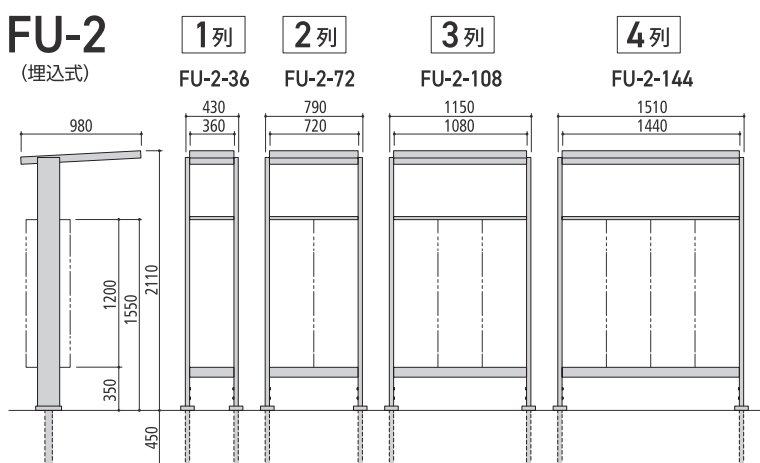
メールボックス・宅配ボックス背面の
取付穴にビスで固定。ステンレス製の背面パネルです。

●2列以上は列数分必要。



FU-2

(埋込式)



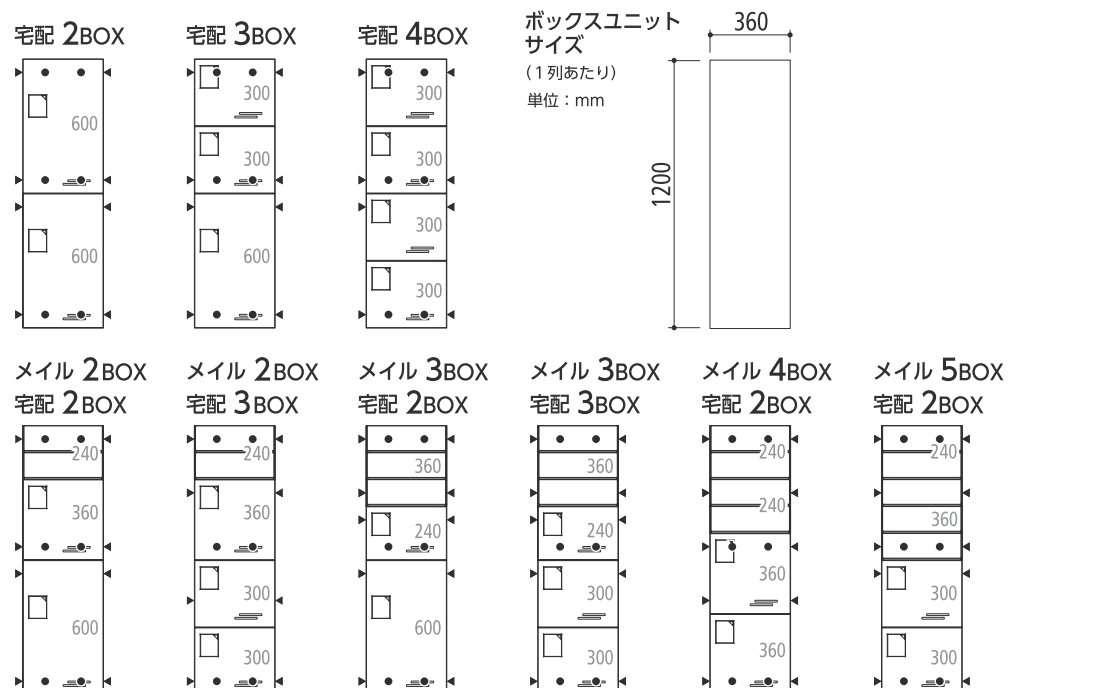
●モジュール組み合わせは最小1列、最大4列。単位：mm

支柱カバーと背面パネルの取付位置について

製品に取り付けるメールボックス・宅配ボックスの数量や組み合わせによって、
製品の支柱カバー・背面パネルとの取付位置が異なります。

以下のボックスユニット図は、ボックス内部から取り付ける位置を示したものです。
ボックスユニット図を参考に、製品の支柱カバー・背面パネルの取付作業をおこなってください。

●ボックス内の数字は1BOXあたりの高さ寸法を表す。



製品に取付できるメールボックス・宅配ボックスの指定機種

- この製品は当社製の防雨タイプメールボックス・宅配ボックス指定機種の取付を前提に設計しています。
- 屋外にて使用するため、かならず当社製の防雨タイプメールボックス・宅配ボックス指定機種をお使いください。
- 当社製および指定機種以外のメールボックス・宅配ボックスは製品に取付できません。
- ボックスユニットの横幅および高さには制限があります。
- 指定機種については追加や変更となる場合があります。

メールボックス
宅配ボックス

W360 専用

ボックス
ユニット高さ 1200 mm

取付可能指定機種

宅配ボックス

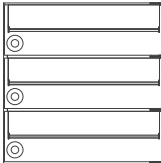
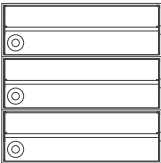
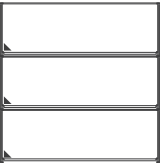
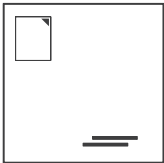
メールボックス

MULTIBOX
GX36R

MAILBOX
MX-68

MAILBOX
MX-92
MX-92-36FF

MAILBOX
MX-8e



- イラストは高さ 360mm タイプで一例。
- ラインナップや詳細については
当社ホームページなどでご確認ください。

取付可能指定機種とボックスユニットの組み合わせ一覧

- 組み合わせは一例。表以外の組み合わせについては営業員へお問い合わせください。
- メールボックス・宅配ボックスの本体幅は 360mm、ボックスユニット高さは 1200mm に限る。

宅配 GX36R	宅配2BOX 360 1200 捺印付き	宅配3BOX 捺印付き	宅配4BOX 捺印付き
メール MX-68 宅配 GX36R	メール2BOX+宅配2BOX・3BOX 360 1200 捺印付き 捺印付き	メール3BOX+宅配2BOX・3BOX 捺印付き 捺印付き	メール4BOX+宅配2BOX 捺印付き メール5BOX+宅配2BOX 捺印付き
メール MX-92-36FF ※3 宅配 GX36R	メール2BOX+宅配2BOX・3BOX 360 1200 捺印付き 捺印付き	メール3BOX+宅配2BOX・3BOX 捺印付き 捺印付き	メール4BOX+宅配2BOX 捺印付き メール5BOX+宅配2BOX 捺印付き
メール MX-8e 宅配 GX36R	メール2BOX+宅配2BOX・3BOX 360 1200 捺印付き 捺印付き	メール3BOX+宅配2BOX・3BOX 捺印付き 捺印付き	メール4BOX+宅配2BOX 捺印付き メール5BOX+宅配2BOX 捺印付き

※3 MX-92-36FFをGX36Rと組み合わせて背面パネルFU-BPを使用する場合、
奥行寸法の違いにより段差が生じるため、別途専用スペーサー（FU-SP）が必要。→p.6参照

仕様

FU-1	支柱・横棧・屋根材	アルミ押出型材ステンカラー（二次電解着色）
FU-2	屋根パネル	アルミ樹脂複合板 ポリエステル樹脂系焼付塗装
	支持金具・補強材	高耐食性めっき鋼板
FU-BP	背面パネル	ステンレス 0.7t No.4仕上
FU-SP	MX-92-36FF 専用スペーサー	ステンレス 0.7t No.4仕上

付属取付金具・付属品

数量が揃っているかご確認ください。太文字の名称ごとに以下のパーツが小袋に入っています。小袋は箱の中に一式で入っています。(別売品付属取付金具を除く)

A 支柱小口フタ取付ビス 4×12 ねベタッピンねじ	B 屋根受金具取付ボルト M8×18 六角ボルト ばね座金 平座金 M8 袋ナット 支柱インナー内側 ← → 支柱インナー外側	C 屋根フレーム取付ボルト① ばね座金 M8 袋ナット 平座金 M8×50 六角ボルト 屋根内側 ← → 支柱インナー内側
D 屋根フレーム取付ボルト② 平座金 ばね座金 M8×18 六角ボルト	E ボックス取付ビス M4 トラス 小ねじ ナイロン ワッシャー M4 フランジ付き 六角ナット ボックス内側 ← → 支柱インナー内側	F ベース金具・埋込ベース取付ボルト 平座金 M10×25 六角ナット ばね座金 M10×25 六角ボルト 支柱インナー内側 ← → 支柱インナー外側
G 支柱カバー固定ビス① 4×25 特皿ドリルねじ	H 支柱カバー固定ビス② 4×13 特皿ドリルねじ	I ベース金具固定ビス 4×13 特皿ドリルねじ
J 金属拡張アンカー M10 六角ナット (1種) M10 六角ナット (3種) ばね座金 平座金	K 上枠・下枠取付ビス 4×19 ねベドリルねじ	L 足元カバー取付ビス 4×13 ねベドリルねじ
M 足元カバー (埋込用) 取付ビス 4×50 ねベドリルねじ	N 足元カバーキャップ取付ビス M4×8 トラス小ねじ	O 調整プレート ベース金具の長穴調整において 高さが不足する場合に使用します。 ●5枚綴りの状態で付属。 隙間の開き具合に応じて枚数を調整して ください。

別売品付属 取付金具

背面パネル
FU-BP 固定用



M4×12
トラス小ねじ
(FU-BP に付属)

MX-92-36FF
専用スパーサー
FU-SP 固定用



M4×6
トラス小ねじ
(FU-SP に付属)

■保証について

1. 保証期間 竣工引渡日から2年間

2. 保証規定 保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に認められた場合、無償で修理致します。

本製品は当社郵便受箱・宅配ボックスの専用部品です。当社製品以外で使用された場合、当社はその責を負わないものとします。

なお次の場合は保証期間中でも「有償修理」と致します。

- (1) 取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。
- (2) 施工説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
- (3) 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。
- (4) 塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などによる生じる外観上の現象。
- (5) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- (6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
- (7) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。

●本書は必ず保管してください。

●製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口について

お問い合わせの際はご使用の製品の型式をご確認の上、
下記へご連絡ください。

【製品名】フレームユニット □ FU-1 (ベース式)
□ FU-2 (埋込式)

●【施工者様へ】設置される該当機種にしるしをお付けください(含む表紙)

田島メタルワーク株式会社

本 社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-1-4 鈴木シャッター本社ビル1F
営 業 課 TEL 03-5977-1761 FAX 03-5977-1762
サービスク TEL 03-5977-1765 FAX 03-5977-1766
リフォーム課 TEL 03-5977-1768 FAX 03-5977-1766

横浜営業所 TEL 045-470-5388 FAX 045-473-0207
名古屋営業所 TEL 052-955-3807 FAX 052-955-3887
大阪営業所 TEL 06-6305-3300 FAX 06-6305-3320
福岡営業所 TEL 092-504-4475 FAX 092-504-4482